

2024年度 第3四半期

決算資料

Consolidated Financial Results

2025年2月6日

株式会社 **TBS**ホールディングス

目次

—

2024年度 第3四半期決算ハイライト

2024年度 業績見通し

株主還元

今後の重点施策

参考資料

本資料に記載されている将来の当社業績に関する見通しほか全ての内容は、本資料作成時点の当社の判断に基づくものであり、記載された将来の計画数値、施策の実現を確約したり、保証したりするものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は、経済情勢、市場動向、経営環境などの変化により、記載事項と異なる可能性があることに十分ご留意下さい。また、本資料の無断転載はお断りいたします。

◇お問い合わせ先

〒107-8006

東京都港区赤坂5丁目3番6号 Tel : 03-3746-1111 (代表)

株式会社TBSホールディングス 総務局コーポレート業務推進部IR室

HP : <https://www.tbsholdings.co.jp/ir/>

▶ 2024年度 第3四半期決算ハイライト

2024年度 業績見通し

株主還元

今後の重点施策

参考資料

2024年度 第3四半期決算

- 連結全体で、増収増益。
第3四半期の売上高としては、過去最高を更新。
- メディア・コンテンツ事業は、スポット市況の好調による放送収入の増収に加え、配信広告収入の伸長などにより、増収増益。
- ライフスタイル事業は、2024年6月にライトアップショッピングクラブが連結範囲から外れた影響を、スタイリングライフグループでの「サボリーノ」「乾燥さん」といった化粧品などの大幅な伸長や、2023年6月に連結したやる気スイッチグループの増加が上回り、増収。
一方、やる気スイッチグループでの人件費や広告宣伝費の増加や、のれんの償却費の増加などにより、減益。
- 不動産・その他事業は、賃料収入の増加などにより、増収増益。

2024年度 業績見通し

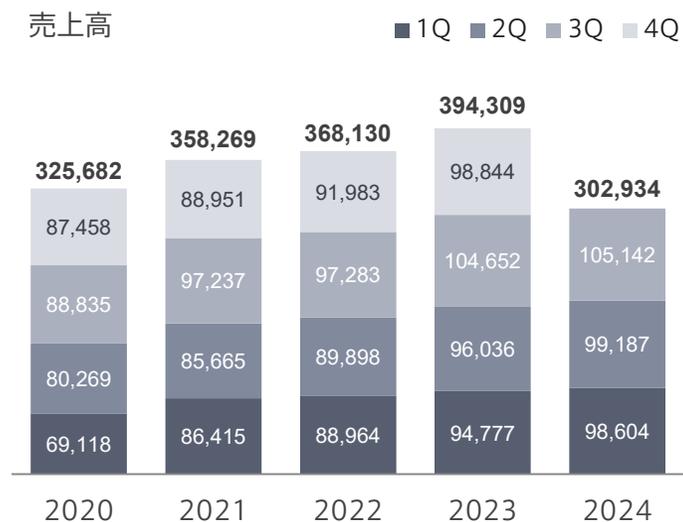
- 連結業績予想は、TBSテレビの放送収入や配信事業収入などの上振れ、スタイリングライフグループの収入伸長などにより、売上高および各利益を、上方修正。

連結損益計算書

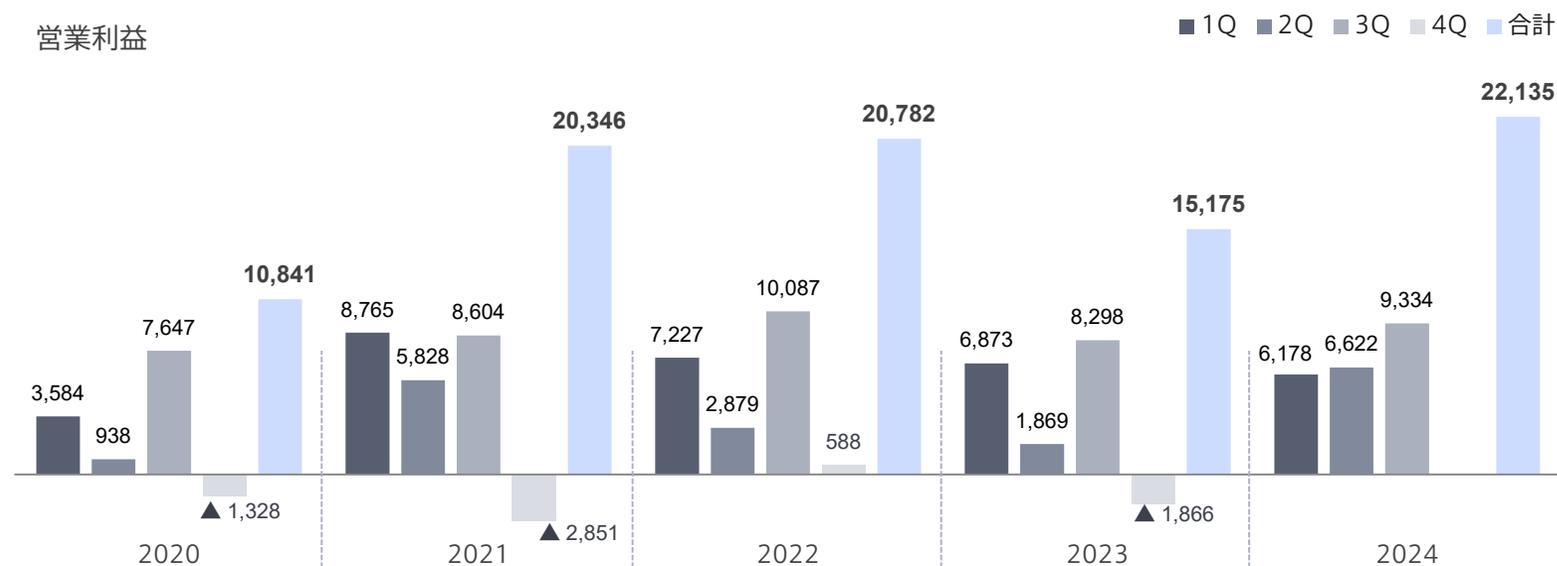
連結全体で、増収増益。

連結	2023年度 3Q(4-12月)	2024年度 3Q(4-12月)	前年差	増減率	単位: 百万円
売上高	295,465	302,934	+7,468	+2.5%	
営業利益	17,041	22,135	+5,093	+29.9%	
経常利益	28,742	34,152	+5,410	+18.8%	
親会社株主に帰属する四半期純利益	38,319	43,740	+5,421	+14.1%	

売上高



営業利益



連結セグメント別 実績

	外部売上				営業利益				単位: 百万円
	2023年度 3Q(4-12月)	2024年度 3Q(4-12月)	前年差	増減率	2023年度 3Q(4-12月)	2024年度 3Q(4-12月)	前年差	増減率	
メディア・コンテンツ	217,576	220,191	+2,615	+1.2%	7,294	12,677	+5,383	+73.8%	
ライフスタイル	65,431	70,011	+4,579	+7.0%	3,913	3,314	▲599	▲15.3%	
不動産・その他	12,457	12,731	+273	+2.2%	5,830	6,142	+312	+5.4%	
調整額	-	-	-	-	3	0	▲2	-	
連結	295,465	302,934	+7,468	+2.5%	17,041	22,135	+5,093	+29.9%	

増減要因	外部売上	営業利益	単位: 百万円
メディア・コンテンツ	TBSテレビ+3,791 TBSスパークル+2,029 TCエンタテインメント▲2,821	TBSテレビ+4,597 TBSスパークル+1,076 TCエンタテインメント▲558	
ライフスタイル	やる気スイッチグループ+5,721 スタイリングライフグループ▲1,141	スタイリングライフグループ+413 やる気スイッチグループ▲1,084	
不動産・その他	TBS HD+428 TBSヘクサ▲82 緑山スタジオ・シティ▲57	TBS HD+176 TBSサンワーク+133	

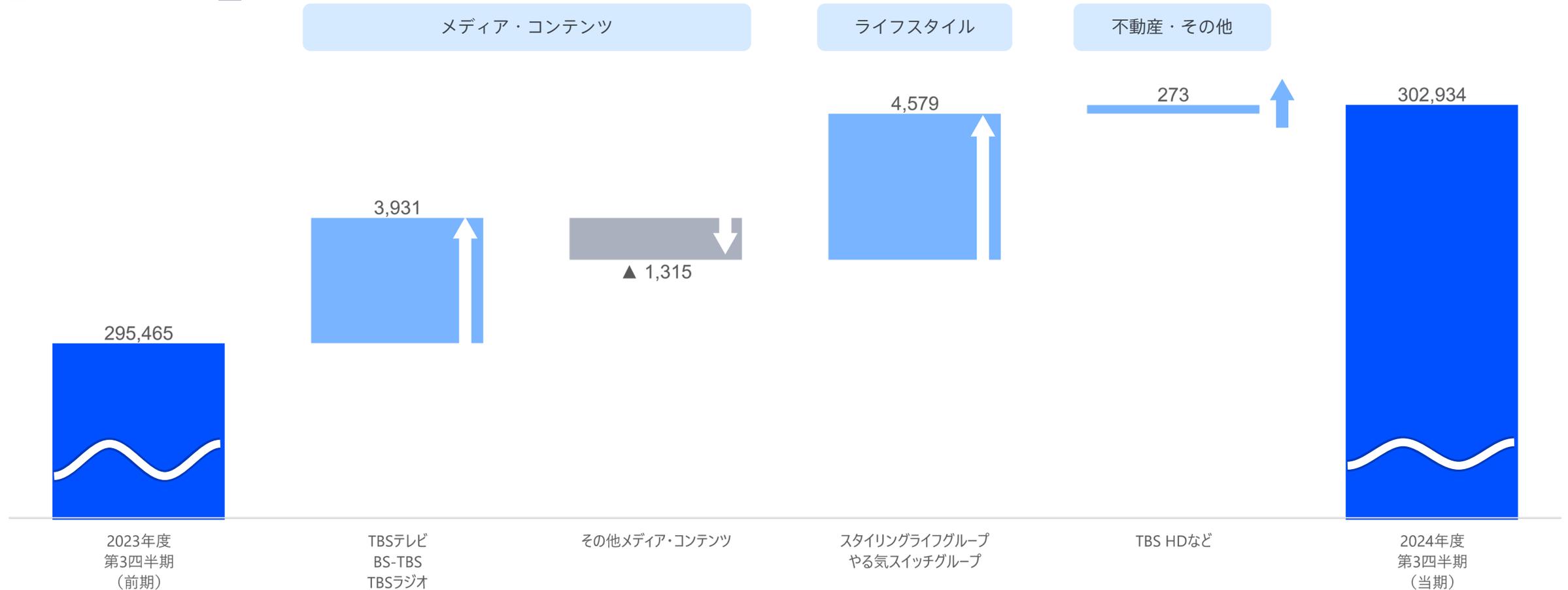
連結セグメント別 売上高（外部売上）の増減要因

連結全体で、増収。

- メディア・コンテンツ事業 → スポット市況の好調による放送収入の増収に加え、配信広告収入の伸長などにより、増収。
- ライフスタイル事業 → 2024年6月にライトアップショッピングクラブが連結範囲から外れた影響を、スタイリングライフグループでの「サボリーノ」「乾燥さん」といった化粧品などの大幅な伸長や、2023年6月に連結したやる気スイッチグループの増加が上回り、増収。
- 不動産・その他事業 → 賃料収入の増加などにより、増収。

■ 売上実績 ■ 増加分 ■ 減少分

単位：百万円



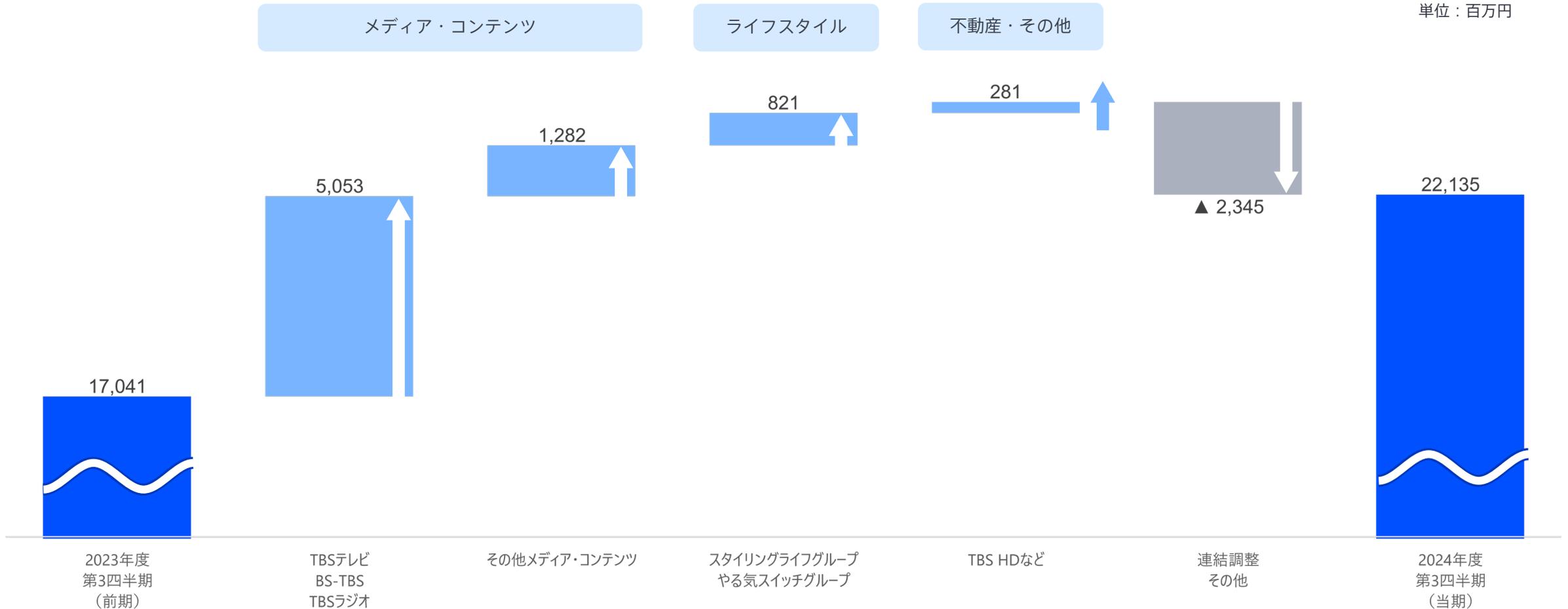
連結セグメント別 営業利益の増減要因

連結全体で、増益。

- メディア・コンテンツ事業 → 放送収入や配信広告収入の増加に加え、番組制作費が減少し、増益。
- ライフスタイル事業 → スタイリングライフグループが好調も、連結調整その他に含まれているのれんなどの償却費増加などにより、減益。
- 不動産・その他事業 → 賃料収入の増加などにより、増益。

■ 営業利益 ■ 増加分 ■ 減少分

単位：百万円



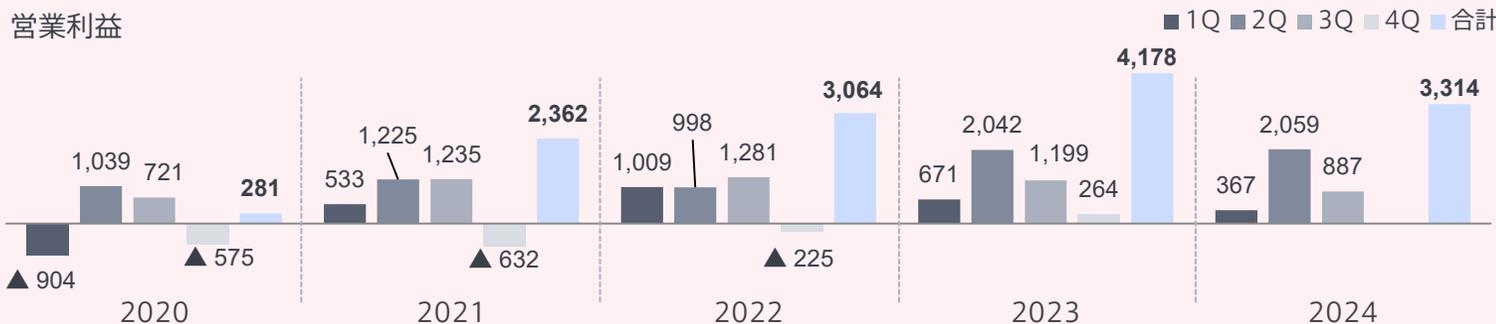
連結セグメント別 経年推移

単位：百万円

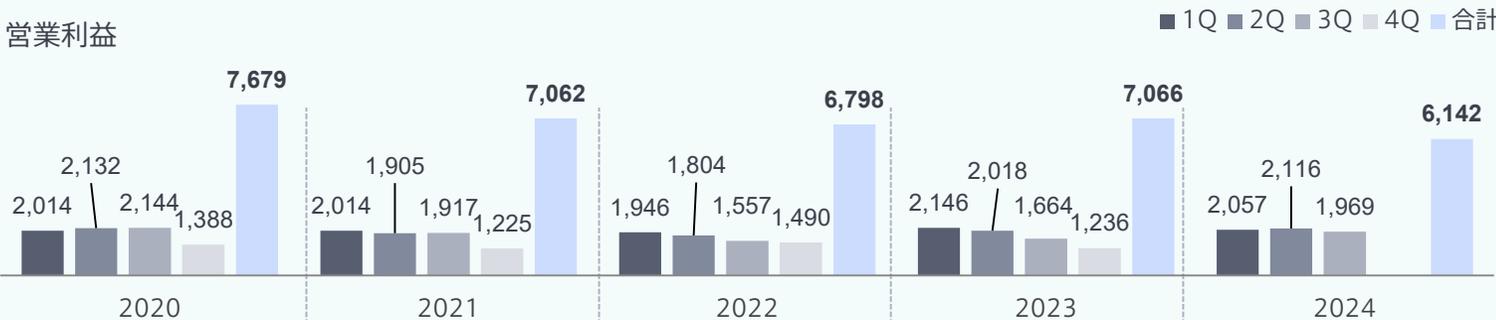
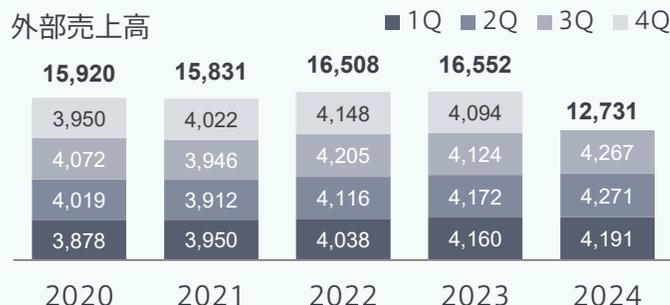
メディア・コンテンツ



ライフスタイル



不動産・その他

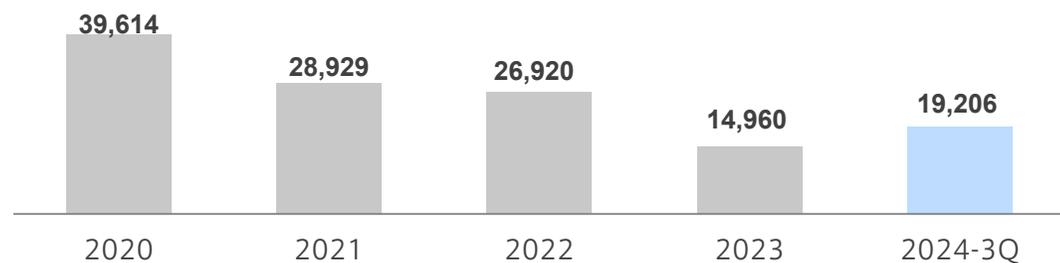


設備投資と減価償却費

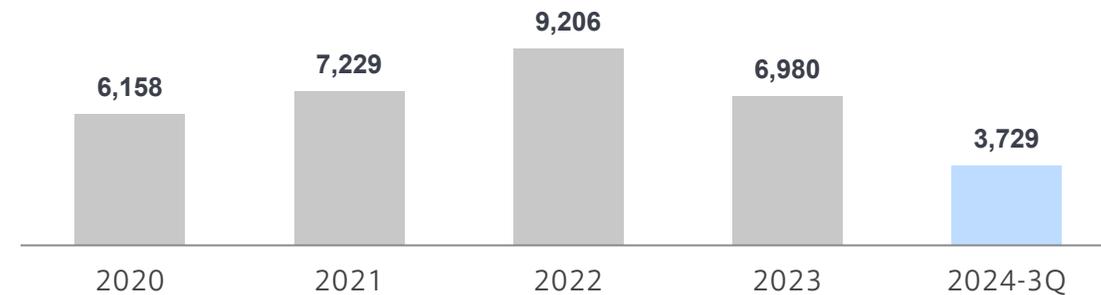
連結	2024年度 3Q(4-12月)	前年差	単位: 百万円
設備投資	19,206	+8,953	
減価償却費	11,117	+788	

TBSテレビ	2024年度 3Q(4-12月)	前年差	単位: 百万円
設備投資	3,729	▲524	
減価償却費	5,754	▲13	

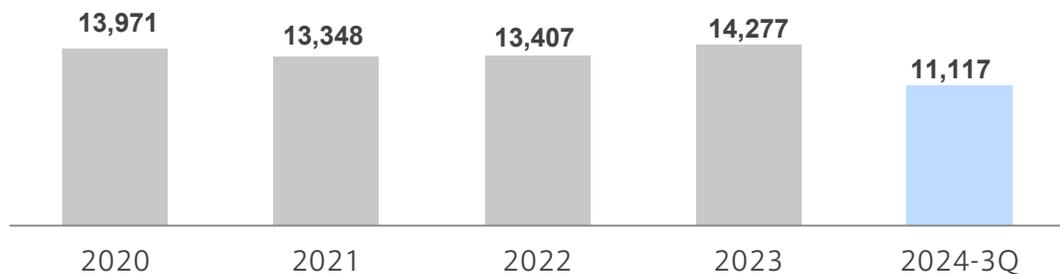
連結設備投資



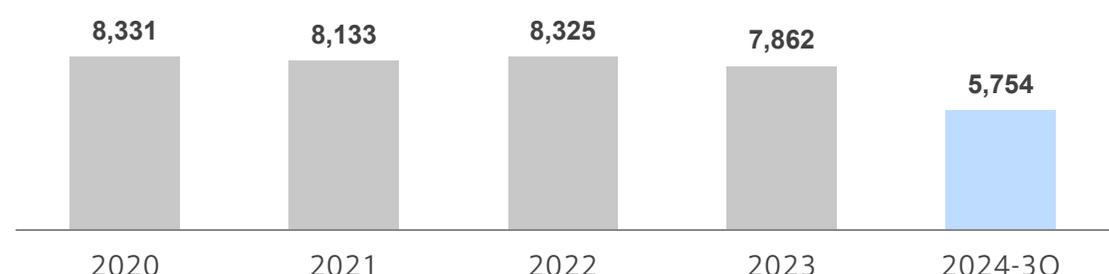
TBSテレビ設備投資



連結減価償却費



TBSテレビ減価償却費



TBSテレビ 損益計算書

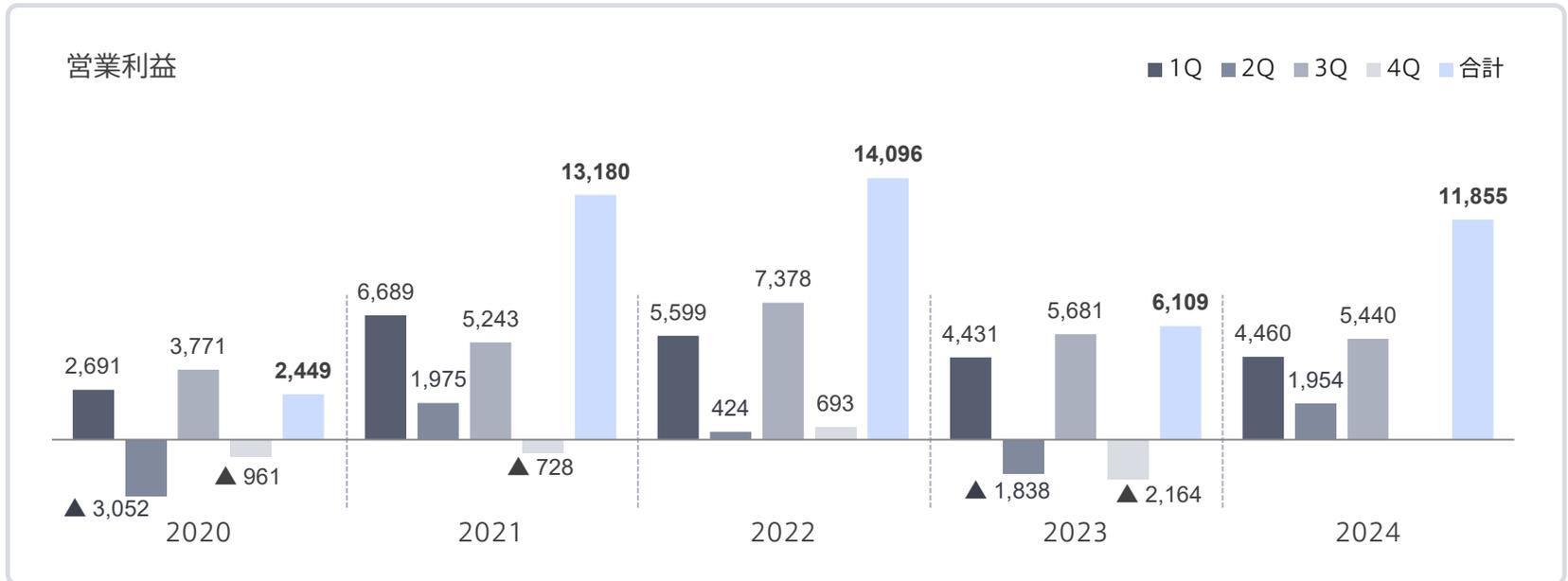
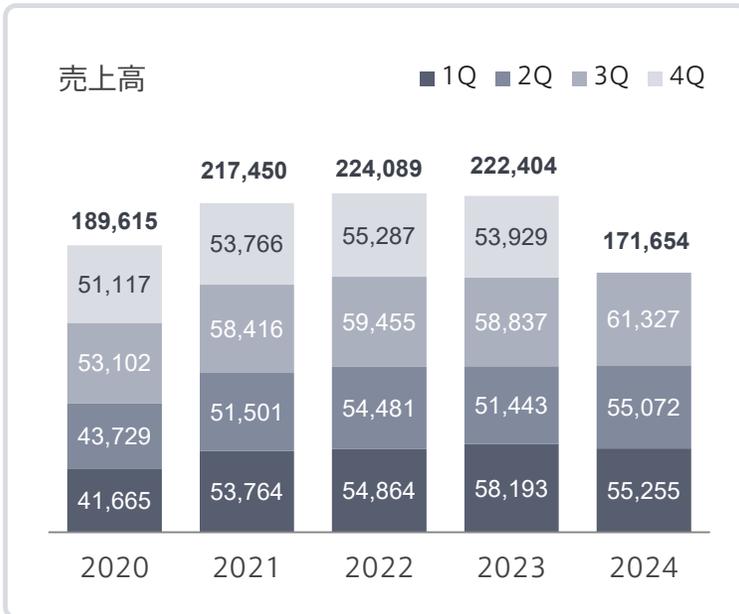
スポット市況の好調による放送収入の増収に加え、配信広告収入の伸長などにより、増収。
 営業利益は、増収に加え、番組制作費の減少などもあり、増益。経常利益も、増益。
 四半期純利益は、前年計上された退職給付費用の反動により特別損失が減少する中、投資有価証券売却益の前期との規模差により、増益幅を拡大。

TBSテレビ	2023年度 3Q(4-12月)	2024年度 3Q(4-12月)	前年差	増減率	単位: 百万円
売上高	168,474	171,654	+3,180	+1.9%	
営業利益	8,274	11,855	+3,581	+43.3%	
経常利益	10,537	14,310	+3,772	+35.8%	
四半期純利益	7,578	27,356	+19,778	+261.0%	

営業費用など

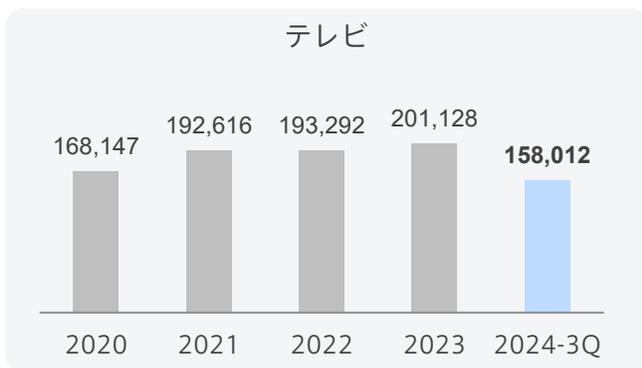
- 番組原価 ▲1,490
- 代理店手数料 +563 (当期21,816)
- ネットワーク費 +713
- 事業部門営業費用 ▲1,532

- 特別利益 (投資有価証券売却益) 当期 27,564
- 特別損失 (資産撤去費用、投資有価証券評価損) 当期 213



	2024年度 3Q(4-12月)	前年差	単位: 百万円
テレビ	158,012	+7,819	
ータイム	61,719	▲335	
ースポット	60,618	+3,406	
ー配信広告	7,861	+2,092	
ー有料配信	8,863	▲812	
ーその他	18,950	+3,468	
事業	11,878	▲4,623	
不動産	1,763	▲15	
収入合計	171,654	+3,180	

※ 前第3四半期において事業部門に含まれていたメディア事業（CS事業）にかかる収入の一部について、2023年7月よりテレビ部門のその他区分で集計しています。
 なお、前第3四半期について、当該変更による組替は行わずに前年差を算出しています。



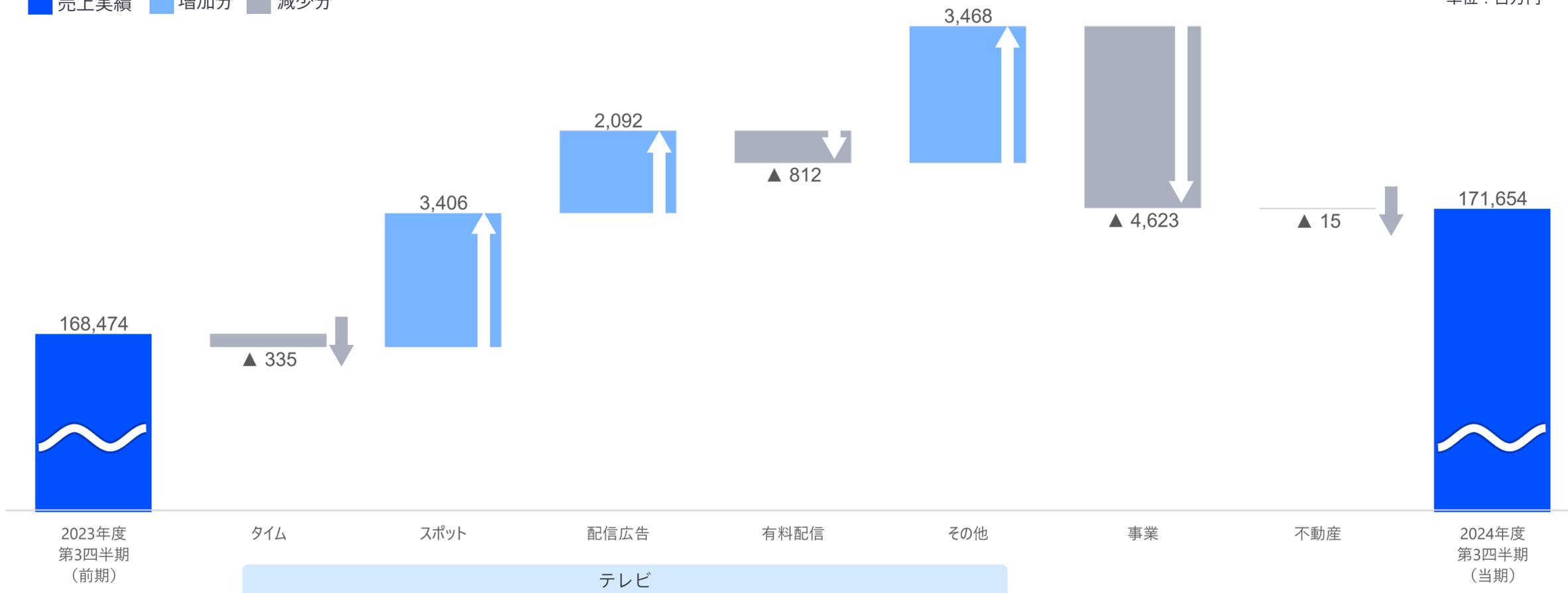
TBSテレビ 売上高の増減要因

トータルで、増収。

- テレビ部門 → スポット市況の好調による放送収入の増収に加え、配信広告収入の伸長、メディア事業の移管などによる増収が、前年大きく売上に貢献した海外配信の反動による減収をカバーし、増収。
- 事業部門 → 前年好調であったDVD販売の反動、ライブエンタテインメントの減収などに加え、メディア事業のテレビ部門への移管により、減収。

■ 売上実績 ■ 増加分 ■ 減少分

単位：百万円



テレビ番組原価（制作費）

第3四半期は、コンテンツ強化のためのドラマ制作費や、スポーツ単発の規模差などにより、増加。通期累計見込みについては、見直し（※）。

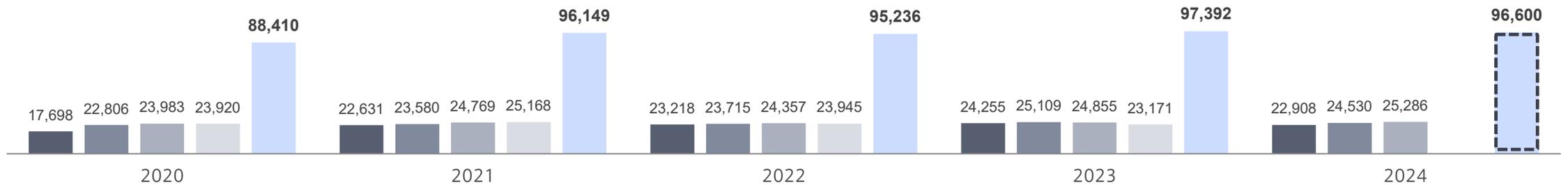
（※） 前回予想 97,500百万円

	2023年度	2024年度	前年差
第1四半期	24,255	22,908	▲1,347
第2四半期	25,109	24,530	▲578
中間期	49,365	47,438	▲1,926
第3四半期	24,855	25,286	+431
第4四半期	23,171	-	-
通期累計	97,392	96,600	▲792

単位：
百万円

← 点線内の通期累計は、見込みです。

■ 1Q ■ 2Q ■ 3Q ■ 4Q ■ 合計



配信事業の状況

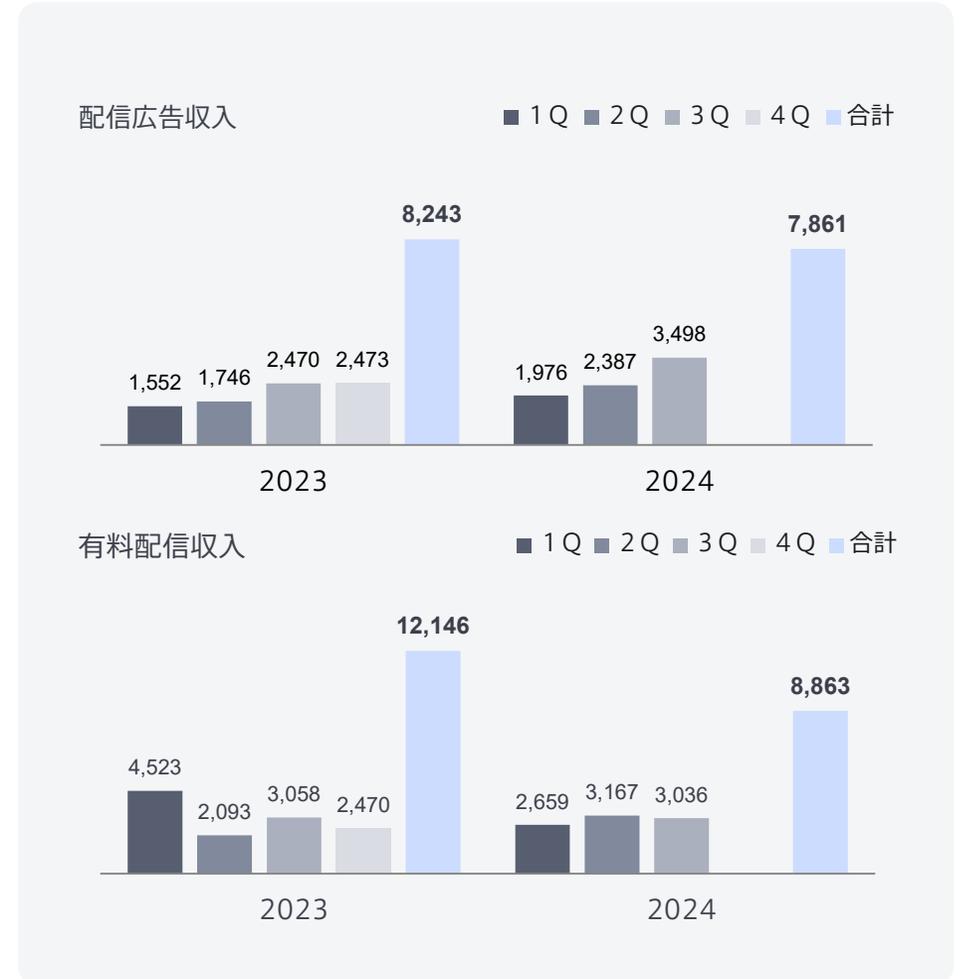
配信広告収入 → ドラマ・バラエティの好調な再生回数を背景に、増収。
2024年12月のTVer収入は単月売上で過去最高を更新。

有料配信収入 → 配信作品の拡充などにより伸長しているものの、前年大きく売上に貢献した海外配信（「風雲！たけし城」や「離婚しようよ」など）の反動により、減収。

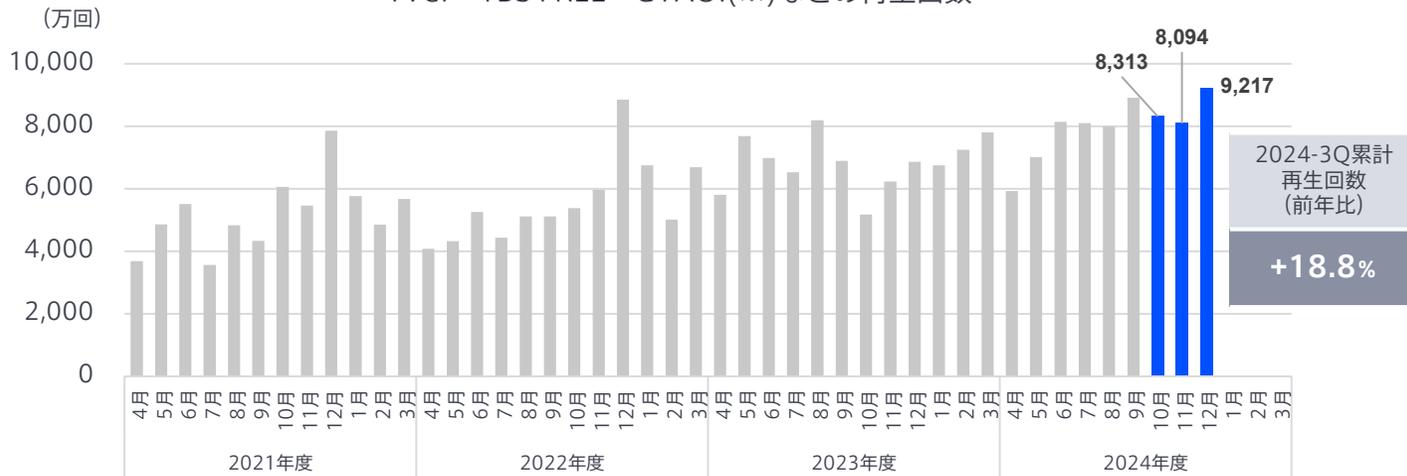
単位：百万円

	2023年度 3Q(4-12月)	2024年度 3Q(4-12月)	前年差	増減率
配信広告収入	5,769	7,861	+2,092	+36.3%
有料配信収入	9,675	8,863	▲812	▲8.4%

単位：
百万円



TVer・TBS FREE・GYAO!(※)などの再生回数



※ GYAO!は2023年3月末でサービス終了

部門	売上高		粗利益		主な増減要因
	2024年度 3Q(4-12月)	前年差	2024年度 3Q(4-12月)	前年差	
アニメ	1,222	+456	137	▲74	「五等分の花嫁」などの二次利用収入により増収も、地上波枠増加に伴い新作アニメの制作費が増加し、減益。
映画	2,384	▲465	751	▲752	「ラストマイル」が大ヒットしたものの、前年公開作品との規模差による反動で、減収減益。
ライブエンタテインメント	6,144	▲1,310	116	▲1,108	舞台「ハリー・ポッターと呪いの子」の公演収入の一服に加え、2023年7月より展覧会事業をTBSグローディアに移管した影響などにより、減収減益。
コンテンツビジネス	668	▲666	568	▲438	前年好調であったDVD販売の反動に加え、2023年7月より一部をTBSグローディアに移管した影響により、減収減益。
グローバルビジネス	1,459	▲230	692	▲228	前年好調であった「風雲！たけし城」のフォーマット販売の反動により、減収減益。
メディア事業・eスポーツ	-	▲2,406	-	▲602	2023年7月以降、テレビ部門に移管。
その他営業費用			▲1,196	+113	
部門計	11,878	▲4,623	1,069	▲3,091	事業部門全体では、減収減益。

単位：
百万円

メディア・コンテンツセグメントの主なグループ会社状況

	売上高			営業利益			主な増減要因
	2023年度 3Q(4-12月)	2024年度 3Q(4-12月)	前年差	2023年度 3Q(4-12月)	2024年度 3Q(4-12月)	前年差	
TBSラジオ	5,968	6,148	+180	35	143	+107	イベント収入やタイム収入が増加したことなどにより、増収増益。
BS-TBS	12,864	12,743	▲120	2,284	2,633	+348	スポット収入やショッピングが伸長したものの、タイム収入が減少し、減収。一方、費用の減少により、増益。
TBSグロウディア	22,714	22,982	+267	949	1,032	+82	前年好調であったDVD収入の反動減を、ショッピング事業がカバーしたことなどにより、増収増益。
日音	6,904	6,766	▲137	655	636	▲18	業務代行収入や邦楽・洋楽収入が減少したことなどにより、減収減益。
TCエンタテインメント	7,635	4,606	▲3,028	765	207	▲558	前年好調であったDVD販売の反動などにより、減収減益。

単位:
百万円

スタイリングライフグループ

雑貨小売販売事業は、化粧品や暑さ対策商材、キャラクター商材が大きく伸長したことなどにより、増収。
 ビューティ&ウェルネス事業は、主力の「サボリーノ」や、新規ブランドの「乾燥さん」が伸長したことなどにより、増収。
 グループ全体では、ライトアップショッピングクラブの連結除外の影響で減収も、好調な雑貨小売販売事業やビューティ&ウェルネス事業の増収に伴い、増益。
 また、営業利益は第3四半期累計としては過去最高を更新。

※1 事業別の売上高は管理会計上の数値。

連結	2023年度 3Q(4-12月)	2024年度 3Q(4-12月)	前年差
売上高	54,068	52,925	▲1,142
営業利益	4,004	4,417	+413

単位:
百万円

事業別	売上高※1		
	2023年度 3Q(4-12月)	2024年度 3Q(4-12月)	前年差
雑貨小売販売事業	30,757	35,135	+4,377
通信販売事業※2	12,020	4,153	▲7,867
ビューティ&ウェルネス事業	11,541	13,846	+2,304
本社およびその他	▲251	▲208	+43
計	54,068	52,925	▲1,142

単位:
百万円

※2 ライトアップショッピングクラブは、株式譲渡に伴い、第1四半期末において、連結範囲から除外。



やる気スイッチグループ

やる気スイッチグループは国際会計基準（以下、IFRS）を適用しており、連結上ではIFRSを日本基準に組み替えた上で、24年3月～24年11月の9か月分を取り込んでいます。

TBS

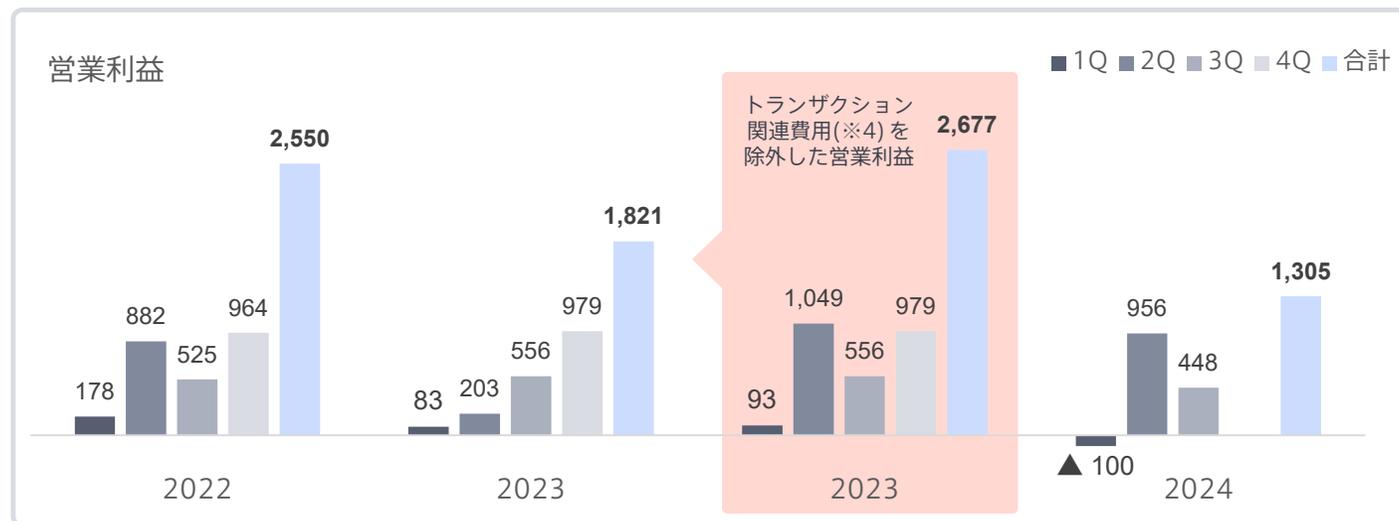
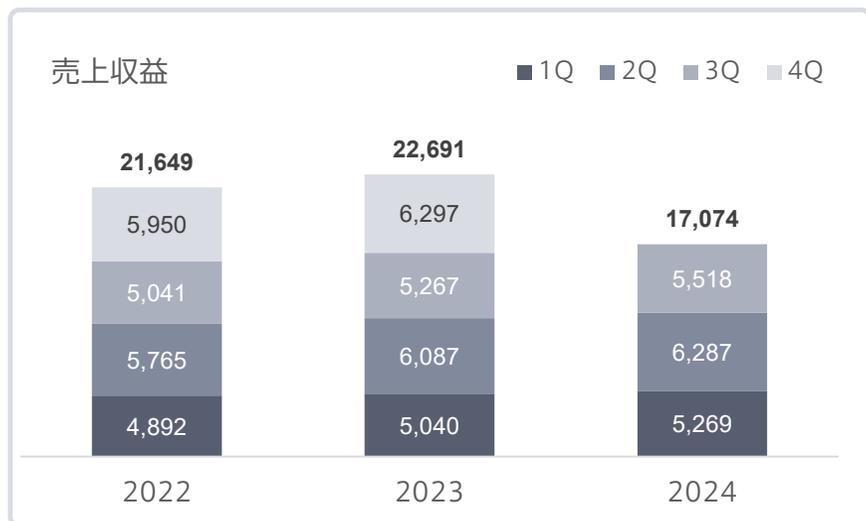
個別指導塾事業および幼児教育事業は、積極的なフランチャイズ教室の直営化に加えて、2023年9月からの授業料などの値上げなどにより、両事業ともに増収。また、直営教室売却の遅れによる事業譲渡益の減少に加え、2023年9月に実施した賃上げや、将来に向けたより高い収益性確保を目的とした不採算フランチャイズ教室の直営化などにより、人件費などの費用が増加。一方、2023年度に発生したTBSグループ入りに伴うトランザクション関連費用※1が今期は発生せず、増益。

連結	2023年度 3Q (3-11月) ※2	2024年度 3Q (3-11月)	前年差
売上収益	16,394	17,074	+680
営業利益	842	1,305	+463
営業利益 トランザクション関連費用 ※1 除く	1,698		▲393

単位：
百万円

事業別	売上収益 ※3		
	2023年度 3Q (3-11月) ※2	2024年度 3Q (3-11月)	前年差
個別指導塾事業	7,816	7,996	+180
幼児教育事業	8,578	9,078	+500
計	16,394	17,074	+680

単位：
百万円



※1 やる気スイッチグループがTBSグループ入りに伴い発生した費用。
 ※2 やる気スイッチグループは2023年6月より連結の範囲に加わっております。
 ※3 事業別の売上収益は管理会計上の数値。
 ※4 やる気スイッチグループがTBSグループ入りに伴い発生した費用 (IFRS) を指し、連結上では日本基準に組み替えて 一部を特別損失に計上しています。

2024年度 第3四半期決算ハイライト

▶ 2024年度 業績見通し

株主還元

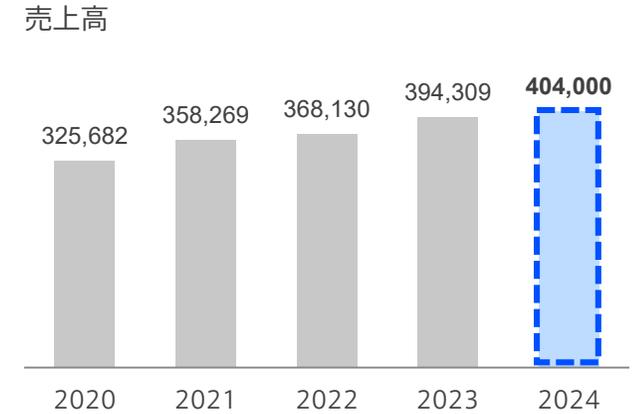
今後の重点施策

参考資料

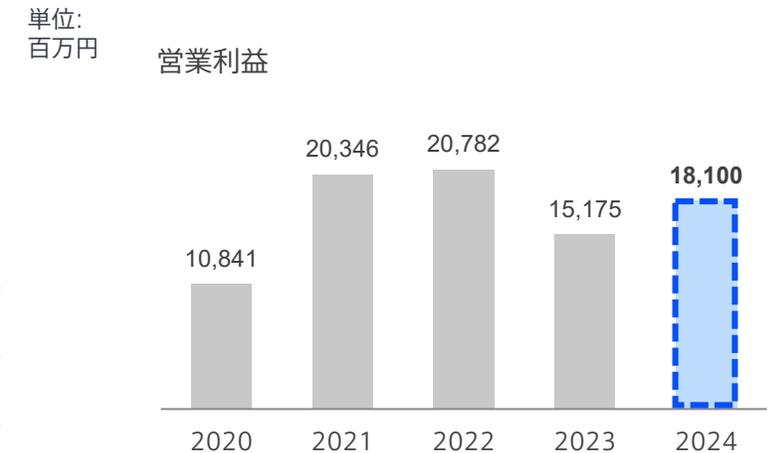
2024年度 連結業績予想の修正

TBSテレビの放送収入や配信事業収入などの上振れ、スタイリングライフグループの収入伸長などにより、売上高および各利益を、上方修正。
 なお、第4四半期は、TBSテレビにおいて、2025年度に放送予定の大型単発番組において合理的に見込まれる費用を計上する予定です。

連結	2023年度実績	前回予想(9/3発表)	修正予想	前回予想からの増減	単位: 百万円
売上高	394,309	400,000	404,000	+4,000	
営業利益	15,175	16,500	18,100	+1,600	
経常利益	27,653	26,100	30,200	+4,100	
親会社株主に帰属する当期純利益	38,126	37,400	40,600	+3,200	



セグメント別	売上高				営業利益			
	2023年度実績	前回予想(5/14発表)	修正予想	前回予想からの増減	2023年度実績	前回予想(5/14発表)	修正予想	前回予想からの増減
メディア・コンテンツ	287,854	294,700	293,500	▲1,200	3,927	6,400	7,100	+700
ライフスタイル	89,903	88,200	93,300	+5,100	4,178	4,200	4,000	▲200
不動産・その他	16,552	17,100	17,200	+100	7,066	5,900	7,000	+1,100
調整額	-	-	-	-	3	-	-	-
連結	394,309	400,000	404,000	+4,000	15,175	16,500	18,100	+1,600



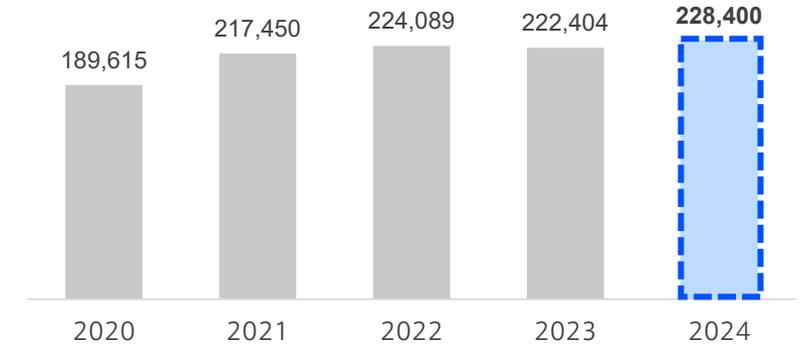
2024年度 TBSテレビ業績予想の修正

TBSテレビの業績予想は、放送収入や配信事業収入の上振れに伴い、売上高および各利益を、上方修正。また、タイム・スポットの予想も、上方修正。番組原価も、見直し。なお、第4四半期は、2025年度に放送予定の大型単発番組において合理的に見込まれる費用を計上する予定です。

TBSテレビ	2023年度実績	前回予想 (11/8発表)	修正予想	前回予想からの増減
売上高	222,404	226,600	228,400	+1,800
営業利益	6,109	6,700	7,900	+1,200
経常利益	8,644	9,100	10,700	+1,600
当期純利益	5,863	23,900	25,100	+1,200

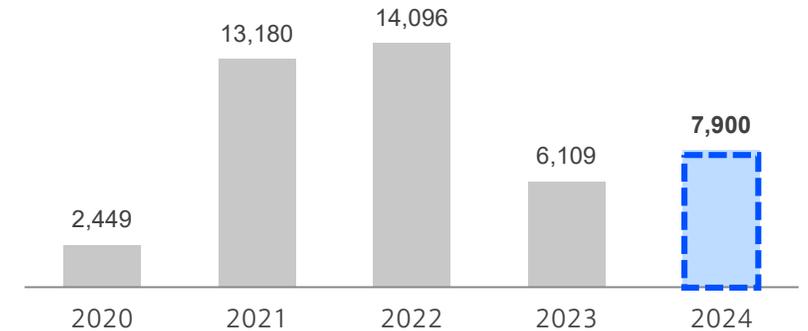
単位:
百万円

売上高



	2024年度 3Q(4-12月)累計実績	通期予想 (前回予想との比較)
タイム	▲0.5%	▲1.2% ⇒ ▲0.7%
スポット	+6.0%	+3.5% ⇒ +5.8%
番組原価 (百万円)	72,725	97,500 ⇒ 96,600

営業利益



2024年度 第3四半期決算ハイライト

2024年度 業績見通し

▶ 株主還元

今後の重点施策

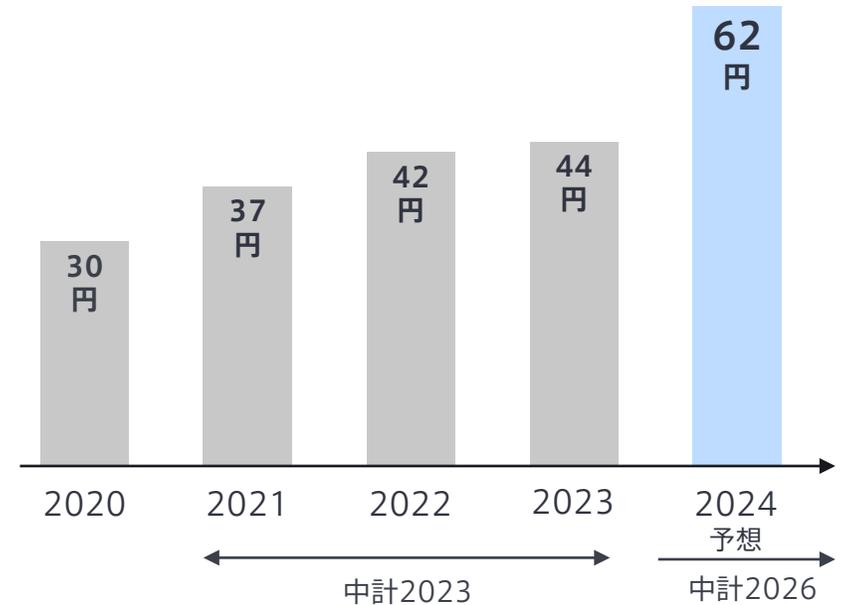
参考資料

配当予想の修正

業績予想の上方修正に伴い、1株当たり期末配当予想を、前回予想27円から**35円**に修正。
中間配当金27円と合わせて、年間配当金は**62円**の予想。

	1株当たり配当金 (円)			配当性向 (%)	特殊な要因*の影響を除いた配当性向 (%)
	中間期末	期末	年間		
2020年度	15	15	30	18.3	59.5
2021年度	15	22	37	19.7	30.9
2022年度	20	22	42	20.1	30.3
2023年度	22	22	44	18.9	34.4
2024年度 (予想)	27	35	62	24.6	40.2

* 中長期の収益拡大を目指す成長領域への投資の源泉として売却した投資有価証券から生じる売却損益は、配当額を決定する上では「特殊な要因」と位置付ける。



基本方針 連結ベースの配当性向40%を目途として、安定的かつ継続的に配当を実施するとともに、総還元性向を意識したうえで、自己株式の取得も機動的に実施します。

2024年度 第3四半期決算ハイライト

2024年度 業績見通し

株主還元

▶ 今後の重点施策

参考資料

配信事業 (TVer)

TVer

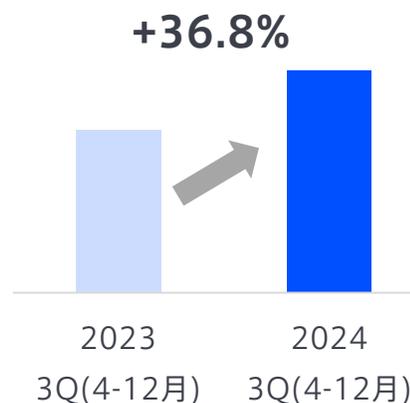
- 月間動画再生数 **4.96**億回を突破
- 月間ユーザー数 **4,100**万MUBを突破
- アプリ累計DL数 **8,000**万DLを達成
- 配信番組数 **800**番組以上 (全局総計)

※レギュラー番組

2024年12月の動画再生数が4.96億回を記録し、月間再生数の過去最高を更新



TBS TVer収入 (前年比)

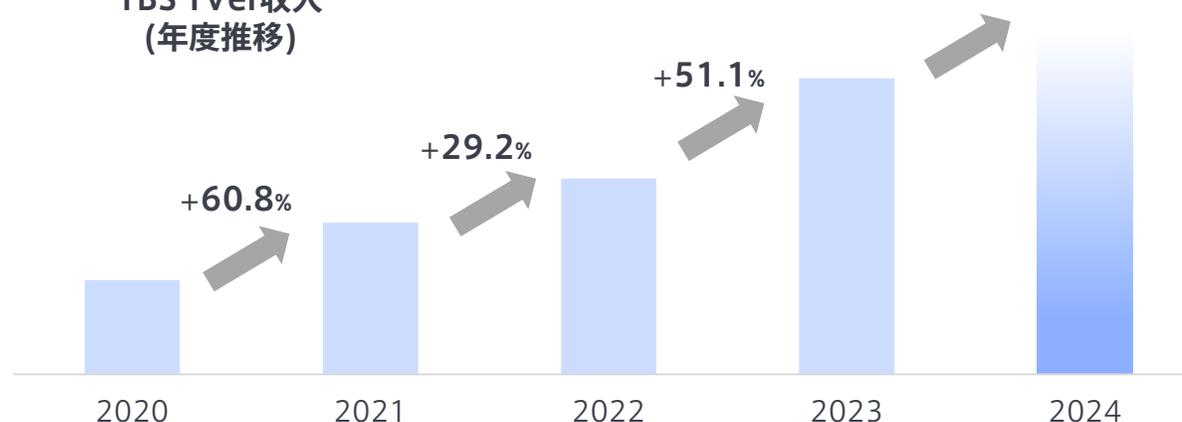


「水曜日のダウンタウン」はじめ、バラエティ番組の再生数も伸長



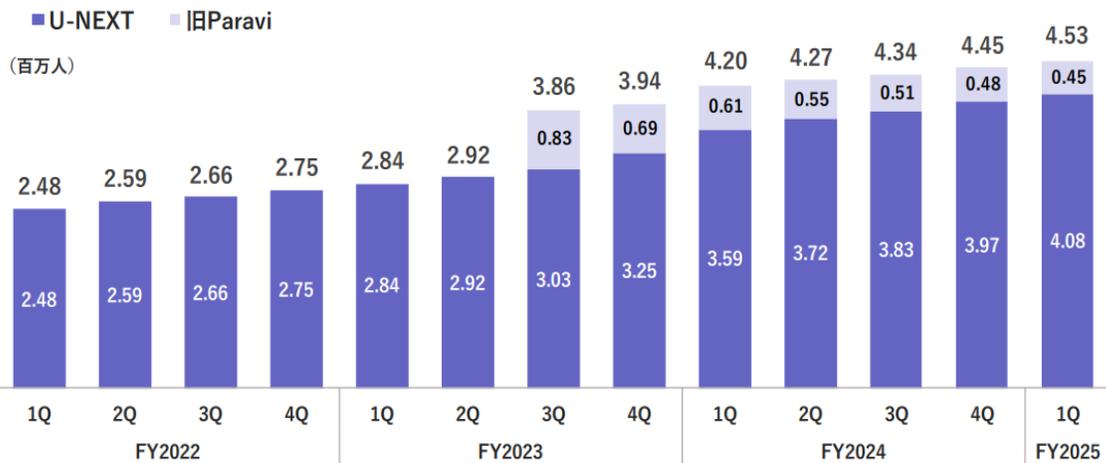
「名探偵津田 第3話 怪盗vs名探偵～狙われた白鳥の歌～」は、バラエティ番組における配信開始後8日間の再生数としては過去最高の**429万回**を記録。

TBS TVer収入 (年度推移)



配信事業 (U-NEXT)

U-NEXT 課金ユーザー数は **450万人** を突破



YoY
+33万人
(+8%)

QoQ
+8万人
(+2%)

QoQ純増減 (千人)	U-NEXT	旧Paravi	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
U-NEXT	+95	+107	+69	+94	+88	+87	+107	+221	+333	+138	+109	+137	+137	+106	
旧Paravi	-	-	-	-	-	-	+829	▲137	▲80	▲63	▲43	▲28	▲28	▲25	

※ビジネスアライアンス先を通じた月額ポイントサービス等を含む



映画「グランメゾン・パリ」公開に先立ち、「グランメゾン・パリ番外編 LE MARIAGE～フランスの食文化を巡る旅～」を独占配信。また、グランメゾンプロジェクトの一環として、日曜劇場「グランメゾン東京」のほか、歴代の木村拓哉主演の5作品を配信。



出典：株式会社U-NEXT HOLDINGS 2025年8月期 第1四半期決算説明資料

THE SEVEN初の企画・制作作品「国民クイズ」 Netflixで世界独占配信決定！



『国民クイズ』 ©杉元 伶一・加藤 伸吉 / 太田出版

監督は、NHK大河ドラマ「鎌倉殿の13人」を手掛けた吉田照幸。脚本は、多くのドラマ・映画や舞台で脚本・演出・出演と多彩な才能を発揮するマギーが、吉田監督と共に担当。チーフプロデューサーはNetflixシリーズ「今際の国のアリス」や「幽☆遊☆白書」を世界的ヒットに導いたTHE SEVENの森井輝が務める。

STORY :

舞台はパラレルワールドの日本。「国民クイズ」とは、日本国憲法にて定められた国権の最高機関として位置し、勝ち残ればどんな願いでも政府によって叶えられるというクイズ番組。勝てば願いが叶い、負ければそれぞれの願いに見合った罰金や過酷な強制労働などが科される。杉元伶一原作、加藤伸吉作画のカルトの人気コミックをNetflixで実写映像化。



主演：山田 孝之

「闇金ウシジマくん」
「クローズZERO」
Netflixシリーズ「全裸監督」など

THE SEVENクリエイター
チーフプロデューサー：森井輝
プロデューサー：高瀬大樹
VFXプロデューサー：赤羽智史
ポストプロスーパーバイザー：石田記理

2025年「M6スタジオ」 フル稼働！

「国民クイズ」を筆頭に、
グローバルOTT向けのハイエン
ドコンテンツを次々に撮影予定。



TBSテレビとSTORIESグループが日本の人気テレビドラマを米国ハリウッド・海外市場向けにリメイク開発する共同事業をスタート



TBSテレビとSTORIESグループが、日本の人気テレビドラマをリメイク。約40本の注目ドラマを厳選し、北米を中心としたグローバル市場の開拓へ。

*リメイク対象作品は未定

●海外で人気のTBSドラマの例

「アンナチュラル」や、「TOKYO MER~走る緊急救命室~」など、アジア各地で圧倒的な人気を獲得。



「アンナチュラル」より

グローバルビジネス元年

TBS International

強みのあるフォーマットビジネスを中心に北米（LA）でのネットワーキングを通じてコンテンツプロバイダーとしてのTBSのプレゼンスを上げ、情報網、販売網を確立し、TBSアセット（商品）の流通網を形成し事業を拡大



TBS KOREA

韓国の制作・流通能力に習い、アジア中心の番販と共同制作によるコンテンツ開発で事業を拡大



アニメ事業①

レギュラー枠の幹事作品が着実に増加。「地縛少年花子くん2」「ロックは淑女の嗜みでして」など、海外販売に期待。

TBS * 幹 はTBSテレビ幹事作品



幹 「地縛少年花子くん2」
日曜 ごご4:30～
(1月クール)

©あいだいろ/SQUARE ENIX・
「地縛少年花子くん2」製作委員会



「アオのハコ」
木曜 よる11:56～
(1月クール)

©三浦糺/集英社・「アオのハコ」製作委員会



幹 「どうせ、恋してしまうんだ。」
木曜 深夜1:28～
(1月クール)

©満井春香・講談社/
アニメ「どうせ、恋してしまうんだ。」
製作委員会



「トリリオンゲーム」
木曜深夜1:58～
(1月クール)

©稲垣理一郎・池上遼一/小学館/アニメ
「トリリオンゲーム」製作委員会



「ウマ娘 シンデラグレイ」
日曜 ごご4:30～
(4月クール)

©久住太陽・杉浦理史&Pita・伊藤年之介/集英社・
ウマ娘 シンデラグレイ製作委員会
©Cygames, Inc.



幹 「ロックは淑女の嗜みでして」
木曜 よる11:56～
(4月クール)

©福田宏・白泉社/「ロックは淑女の嗜みでして」
製作委員会



未定
木曜 深夜1:28～
(4月クール)

MBS



「悪役令嬢転生おじさん」
木曜 深夜0:26～
(1月クール：MBS)

©上山道郎・少年画報社/
悪役令嬢転生おじさん製作委員会・
MBS



「シャングリラ・
フロンティア
2nd Season」
日曜 ごご5:00～
(1月クール：MBS)

©硬梨菜・不二涼介・講談社/
「シャングリラ・フロンティア」
製作委員会・MBS



「WIND BREAKER
Season2」
木曜 深夜0:26～
(4月クール：MBS)

©いさるとる・講談社/
WIND BREAKER Project



「ウィッチウォッチ」
日曜 ごご5:00～
(4月クール：MBS)

©篠原健太/集英社・ウィッチウォッチ
製作委員会・MBS

CBC



「『キン肉マン』
完璧超人始祖編
Season2」
日曜 よる11:30～
(1月クール：CBC)

©ゆてたまご/集英社MB内マン
製作委員会



「戦隊大失格」2nd season
日曜 よる11:30～
(4月クール：CBC)

©春場ねぎ・講談社/
「戦隊大失格」製作委員会

その他のトピックス



「ンめねこ」
木曜 深夜1:58～
(4月クール)

©しりもと/HUNET・「ンめねこ」
製作委員会

Xのフォロワー数25万人のクリエイターしりもとの人気作品をアニメ化。



「タコピーの原罪」
©タイザン5/集英社・
「タコピーの原罪」製作委員会

2021年に「少年ジャンプ+」で連載開始、SNSで話題に。2巻完結ながら発行部数140万部突破の衝撃作をアニメ化。

アニメ化決定

アニメ事業②

TBSテレビ初幹事作品「たべっ子どうぶつ THE MOVIE」、松竹株式会社との共同幹事作品「不思議の国でアリスと -Dive in Wonderland-」など、意欲的に劇場用アニメにも進出。



©ギンビス ©劇場版「たべっ子どうぶつ」製作委員会

映画
「たべっ子どうぶつ THE MOVIE」
2025年5月1日公開

TBSテレビ初幹事の劇場用アニメ作品。
お菓子の人気キャラクターを3Dアニメ化。
物販、海外販売など多方面での収益を期待。



「たべっ子どうぶつ」は世界28の国と地域で展開され、コアファンが多数。



©「不思議の国でアリスと」製作委員会

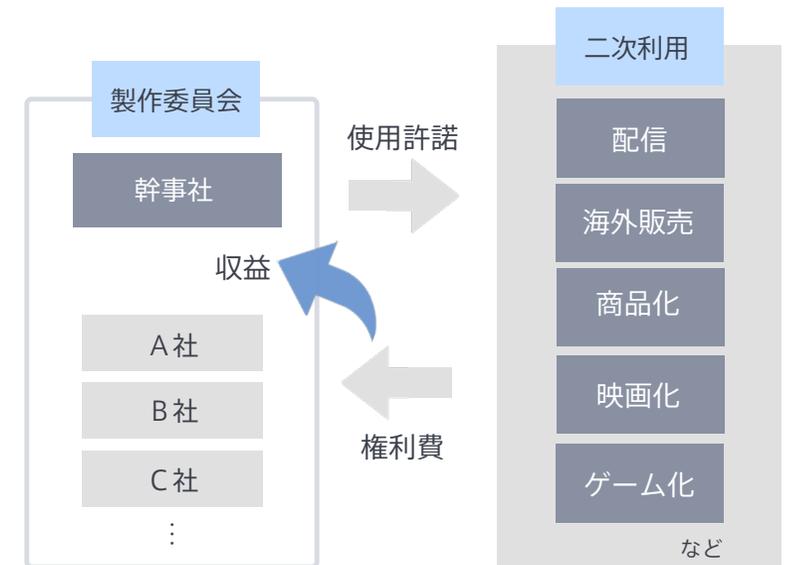
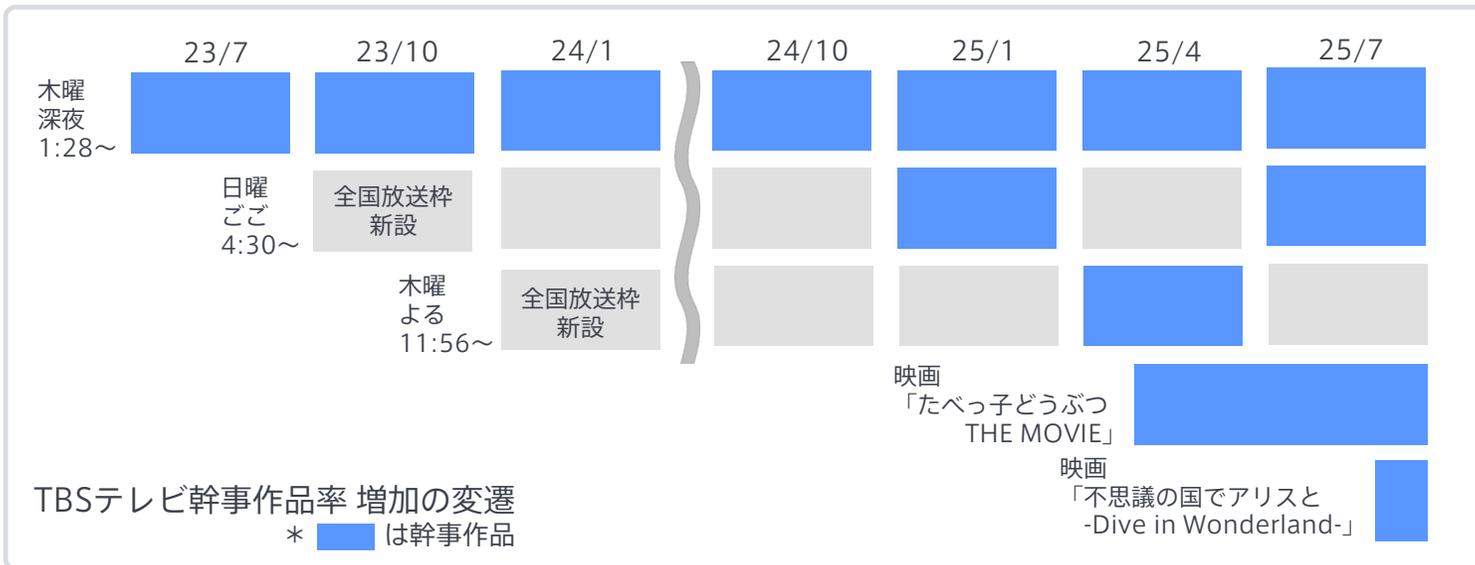
映画
「不思議の国でアリスと -Dive in Wonderland-」
2025年8月29日公開

TBSホールディングスと松竹株式会社が2024年1月に資本業務提携に合意後、初の共同幹事作品。ルイス・キャロルの名作「不思議の国のアリス」を日本で初めて劇場アニメーション化。

制作：P.A.WORKS
脚本：柿原優子

(「うる星やつら」、「アオのハコ」など)

TBSテレビ幹事作品率アップでさらなる収益化へ。



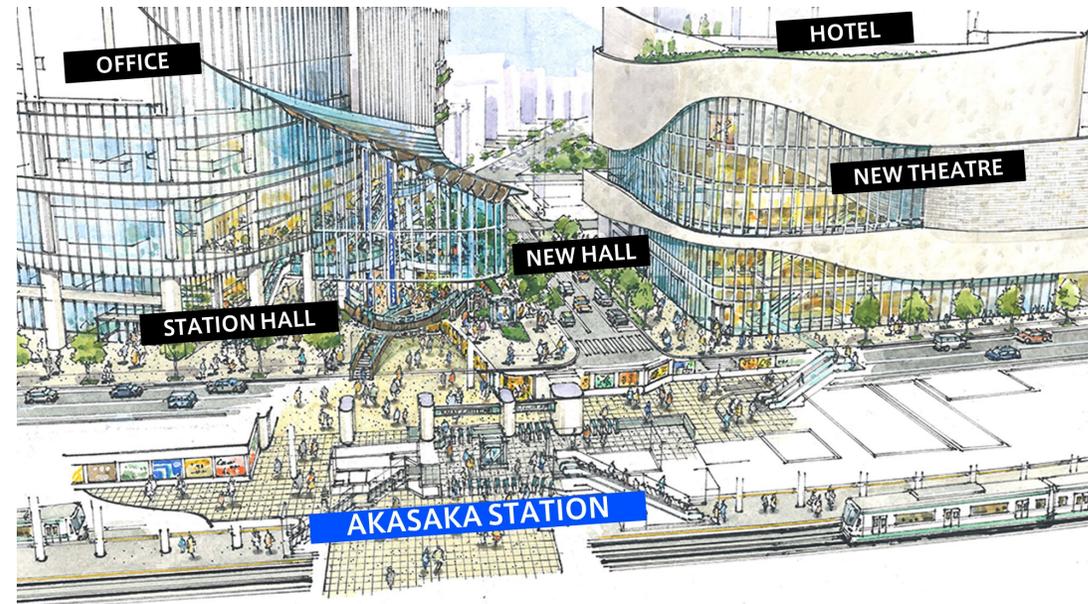
映画・興行・催事 今後の主なラインナップ

	期間	タイトル	備考
映画	2025/2/14公開	劇場版「トリリオンゲーム」	配給：東宝
	2025/3/20公開	「少年と犬」	配給：東宝
	2025/4/4公開	「片思い世界」	配給：東京テアトル リトルモア
	2025/4/25公開	「# 真相をお話しします」	配給：東宝
	2025/5/1公開	「たべっ子どうぶつ THE MOVIE」	配給：TBSテレビ クロックワークス
	2025/5/30公開	「か「」く「」し「」ご「」と「」	配給：松竹
	2025/8/1公開	劇場版「TOKYO MER～走る緊急救命室～南海ミッション」	配給：東宝
	2025/8/29公開	「不思議の国でアリスと -Dive in Wonderland-」	配給：松竹
興行	2022/7/8～ロングラン	舞台「ハリー・ポッターと呪いの子」	TBS赤坂ACTシアター
	2025/1/17～2/24	ミュージカル「ラブ・ネバー・ダイ」	日生劇場
	2025/3/8～9	CDTVライブ！ライブ！春の大感謝祭2025	Kアリーナ横浜
	2025/3/8～23	舞台「五等分の花嫁」	ステラボール
	2025/3/14～23	熊川哲也 K-BALLET TOKYO Spring 2025 「海賊」	Bunkamuraオーチャードホール
	2025/4/5～6	STARS ON ICE JAPAN TOUR 2025	東和薬品RACTABドーム
	2025/4/22	最強スポーツ男子頂上決戦2025春	有明アリーナ
	2025/5/10～11、5/23～6/1	熊川哲也 K-BALLET TOKYO Spring Tour 2025 「白鳥の湖」	東京文化会館 大ホール など
催事	2025/3/11～6/8	「西洋絵画、どこから見るか？」 —ルネサンスから印象派まで サンディエゴ美術館 vs 国立西洋美術館	国立西洋美術館
	2025/6/7～22	EIKICHI YAZAWA 50th Year Memorial Exhibition 「俺たちの矢沢永吉」展	横浜赤レンガ倉庫 1号館
	2025年夏	特別展「氷河期展～人類が見た4万年前の世界～」	国立科学博物館

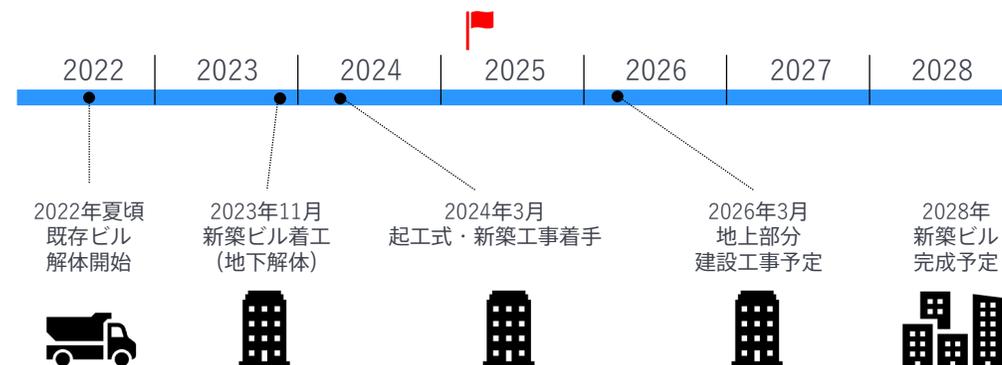
赤坂エンタテインメント・シティ



※ 青字部分は2028年竣工予定の再開発エリア (写真・イラストはイメージです。)



再開発エリアの工事スケジュール



スタイリングライフグループのトピックス

BCL
Beauty Creative Life

「乾燥さん (KANSOSAN)」

乾燥肌の人に向けて肌の乾燥とバリア機能改善にアプローチ！

BCLカンパニーから発売されている「乾燥さん」は、デリケートな乾燥肌・保湿ケア重視の方のための「潤い特化型ベースメイクブランド」です。毎日使い続けられてリピートしたくなるという好評で、スキンケア下地をはじめ、パウダーやバーム、ファンデーションまで様々なアイテムを展開中。乾燥は冬だけのものだと思いませんか。春先は気候の変化や花粉もあります。夏もエアコン下での湿度は低く、肌の乾燥を加速させているケースも多いのです。乾燥にお悩みの方はぜひ使ってみてくださいね。



あなたの街にPLAZAがやってくる！

PLAZA
MITSUI OUTLET PARK
MARINE PIA
KOBE
OPEN
2024.11.26 TUE.

PLAZA
SHINKOSHIGAYA
VARIE
**RENEWAL
OPEN**
2024.12.10 TUE.

PLAZA ファッションクルーズひたちなか店

出店場所 茨城県ひたちなか市 ニューポート
ひたちなかファッションクルーズ 1F
オープン日 2025年2月28日(金) 予定

PLAZA シャミネ鳥取店

出店場所 鳥取県鳥取市 シャミネ鳥取 1F
オープン日 2025年3月19日(水) 予定



新越谷ヴァリエ店

やる気スイッチグループのトピックス

教室数および生徒数推移

教室数推移

2023年11月末時点 **2,337** 校 → 2024年11月末時点 **2,440** 校

生徒数推移

2023年11月末時点 **134,197** 名 → 2024年11月末時点 **136,057** 名

寺小屋グループ子会社化に関するお知らせ



地方の学習塾をグループ化、四国地域での教育サービスの拡充へ

総合教育サービス事業を運営する株式会社やる気スイッチグループは、2024年12月2日（月）付で愛媛県を中心に集団学習塾などを展開する寺小屋グループを子会社化しました。今回のグループ化により、やる気スイッチグループの教育メソッドと寺小屋グループの地域密着型の運営ノウハウを融合し、さらに寺小屋グループの事業基盤を活用して四国地域での教育サービスの充実に努めていきます。

寺小屋グループ子会社化によるねらい

地方教育・地場産業の活性化

個別指導塾の拡充

幼児教育市場の推進

新規開校状況（2024年3月～）



2025年2月期
累計開校件数
17 校 開校 ※1

9月開校

■FC 高坂校(埼玉)

10月開校

■直営 いりなか校(愛知)
■FC 愛甲石田校(神奈川) etc.

11月開校

■FC 愛宕駅前校(千葉)
■FC 本塩釜駅前(宮城)



2025年2月期
累計開校件数
1 園 開園 ※2

11月開校

■直営 馬事公苑校(東京)



2025年2月期
累計開校件数
6 校 開校

9月開校

■直営 東中野校(東京)



2025年2月期
累計開校件数
8 校 開校

9月開校

■FC 中山(神奈川)

10月開校

■FC 茗荷谷(東京)
■FC 膳所ときめき坂(滋賀)



2025年2月期
累計開校件数
48 ラボ 開校

9月開校

■FC 美原ラボ(大阪) etc.

10月開校

■FC TUF相馬ラボ(福島)
■FC チューリップテレビ富山グリーンモール山室ラボ(富山) etc.

11月開校

■FC OBS大分放送ラボ(大分) etc.



2025年2月期
累計開校件数
23 拠点 開講 ※3

10月開校

■YPFC トラ丸宇宿校(鹿児島) etc.

11月開校

■YP直営 馬事公苑(東京)



2025年2月期
累計開校件数
3 園 開園



▲ 10月開校 IE いりなか校



2025年2月期
累計開校件数
5 園 開園



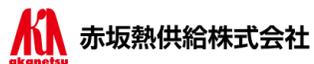
▲ 11月開校 WB(WA) 馬事公苑校

※1 海外教室除く

※2 2024年11月に初開校した『WeAct!』は幼児英会話教室ブランドの『WinBe』内でカウント

※3 プログラミング教室『HALLO』の開校件数は株式会社YPスイッチの直営およびFC(他塾展開)の開講数のみをカウント

赤坂熱供給株式会社にてグリーン水素活用設備を導入へ。GHG排出量削減にあたり、証書購入で対応する段階から実質的な排出量を削減する次のフェイズへ。



地域冷暖房供給会社として赤坂5丁目エリアのインフラを担うグループ会社。
グリーン水素を活用するための設備を導入します。

TBSグループ目標 2050年までにカーボンニュートラル達成

2022年度	グループ全体でScope 1と2のGHG排出量を可視化
2023年度	主要3施設（TBS赤坂放送センター、緑山スタジオ、赤坂サカス文化施設棟）でカーボンニュートラル達成

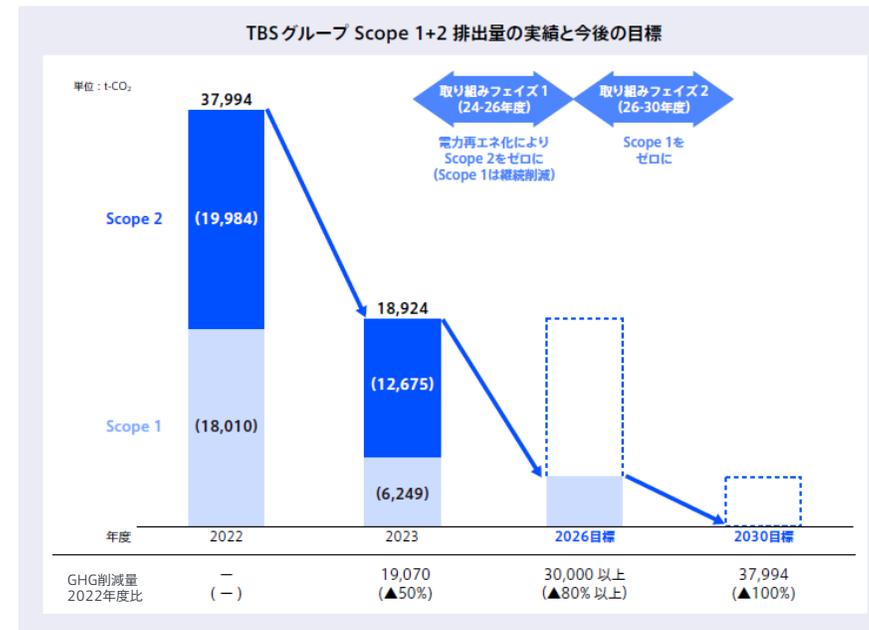
- Scope 1排出量の大半は、代替困難な建物インフラでの都市ガス燃焼に由来するため、削減方法は証書の購入などに限定されてきました。
- 赤坂熱供給株式会社で、老朽化した熱源設備を更新するにあたり、今後グリーン水素が次世代エネルギーとなる将来性を考慮。安心・安全な設備の導入を決定するとともに、限られたスペースの中でグリーン水素の活用を開始し、GHG排出量の削減・脱炭素社会実現に貢献。

導入設備の概要

- 今後熱源設備にて、国内で製造されたグリーン水素と都市ガスを混焼し、GHG排出量を削減
- 水素タンクなどの水素供給システム全般は、清水建設株式会社が設計・施工
- 設備の稼働・GHG排出量の削減開始は、2026年1月を予定

2023年にデビューした世界初の水素中継車も活躍中

2024年12月4日～6日に東京ビッグサイトで開催された日本最大級の環境イベント「エコプロ2024」にTBSグループとしてブースを出展。「地球を笑顔にするWEEK・広場・ACTION」などの紹介に加え、水素中継車を展示。2025年1月1日に行われた「第69回 ニューイヤー 駅伝～全日本実業団対抗駅伝競走大会～」でも水素中継車を使用しました。



2024年度 第3四半期決算ハイライト

2024年度 業績見通し

株主還元

今後の重点施策

▶ **参考資料**

連結貸借対照表

	2024年 3月末	2024年 12月末	比較		2024年 3月末	2024年 12月末	比較	単位: 百万円
流動資産	154,399	189,648	+35,248	流動負債	94,993	96,208	+1,215	
				固定負債	322,564	278,826	▲43,738	
				負債合計	417,557	375,034	▲42,522	
固定資産	1,413,105	1,239,363	▲173,741	自己資本	1,137,659	1,040,434	▲97,224	
				非支配株主持分	12,287	13,542	+1,254	
				純資産合計	1,149,947	1,053,976	▲95,970	
資産合計	1,567,504	1,429,011	▲138,493	負債 純資産 合計	1,567,504	1,429,011	▲138,493	

四半期末有利子負債残高 134億円 (前期末比 +96億円)

※ リース債務は除く

LTV4-59視聴率(4-59歳)

(※ []内は前年差 単位：%)

	全日	ゴールデン	プライム	ノンプライム
TBS	②1.8 [0.0]	②3.6 [+0.1]	②3.4 [0.0]	③1.3 [▲0.1]
日本テレビ	①2.7	①4.6	①4.4	①2.3
テレビ朝日	④1.5	④2.8	③2.9	④1.1
テレビ東京	⑥0.6	⑥1.7	⑥1.5	⑥0.3
フジテレビ	②1.8	③3.1	③2.9	②1.5
NHK	⑤1.0	⑤2.1	⑤1.9	⑤0.8
PUT	10.6[▲0.5]	19.6 [▲0.8]	18.6[▲0.9]	8.4 [▲0.3]

(2024/4/1 ~ 2024/12/29 : 週ベース)

(ビデオリサーチ調べ：関東地区)

個人全体視聴率 (ALL)

(※ []内は前年差 単位：%)

	全日	ゴールデン	プライム	ノンプライム
TBS	④2.7 [0.0]	④4.3 [+0.1]	④4.1 [0.0]	④2.3 [0.0]
日本テレビ	②3.3	①5.2	②4.9	②2.9
テレビ朝日	①3.5	①5.2	①5.2	①3.0
テレビ東京	⑥1.1	⑥3.0	⑥2.6	⑥0.7
フジテレビ	⑤2.2	⑤3.5	⑤3.4	⑤1.9
NHK	③2.8	③5.0	③4.3	③2.4
PUT	18.5 [▲0.3]	30.5 [▲0.6]	28.4 [▲0.7]	15.7 [▲0.2]

(2024/4/1 ~ 2024/12/29 : 週ベース)

(ビデオリサーチ調べ：関東地区)

タイム・スポット収入対前年比

単位：
百万円

	タイム			スポット				備考
	2024年度	前年差	増減率	2024年度	前年差	増減率	地区投下 (推計)	
4月	6,890	▲339	▲4.7%	7,100	▲100	▲1.4%	▲1.5%	
5月	6,408	+27	+0.4%	6,350	▲138	▲2.1%	▲1.4%	
6月	6,988	+933	+15.4%	6,061	+109	+1.8%	+3.2%	タイムは、「バレーボールネーションズリーグ」で、増収。
7月	6,439	+50	+0.8%	6,572	+302	+4.8%	+5.1%	
8月	7,219	▲343	▲4.5%	5,339	+334	+6.7%	+4.1%	
9月	6,055	▲885	▲12.8%	6,391	+1,101	+20.8%	+11.1%	タイムは、前年の「アジア大会」の反動減。スポットは反動増。
10月	6,661	▲898	▲11.9%	7,430	+903	+13.8%	+4.2%	タイムは、前年の「アジア大会」の反動減。スポットは反動増。
11月	7,634	+1,013	+15.3%	7,659	+398	+5.5%	+6.0%	タイムは、「世界野球プレミア12」で、増収。
12月	7,421	+107	+1.5%	7,713	+495	+6.9%	+4.2%	タイムは、年末年始セールス（12月分）過去最高により、増収。
1月								
2月								
3月								
1Q	20,287	+621	+3.2%	19,512	▲129	▲0.7%	▲0.1%	
2Q	19,714	▲1,178	▲5.6%	18,302	+1,737	+10.5%	+6.8%	
3Q	21,717	+222	+1.0%	22,802	+1,797	+8.6%	+5.1%	
4Q								
通期	61,719	▲335	▲0.5%	60,618	+3,406	+6.0%	+3.9%	

スポット5局シェア (推計) 四半期推移

2020年度 19.7% (累計)				2021年度 20.1% (累計)				2022年度 20.6% (累計)				2023年度 20.5% (累計)				2024年度 21.0% (累計)			
1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q												
20.5	20.2	19.4	19.3	20.4	20.3	19.7	20.0	21.2	20.6	20.9	19.6	20.9	20.6	20.2	20.1	20.8	21.4	20.9	

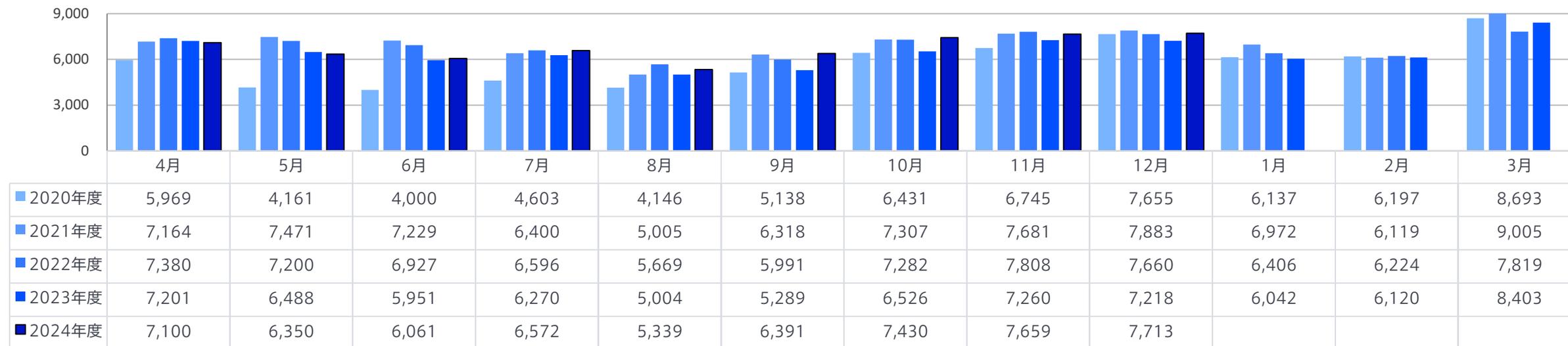
タイム・スポット収入 経年推移

タイム収入

単位：百万円



スポット収入



業種別スポット売上順位

単位：%

	2024年度 3Q(4-12月)	増減率	シェア	2023年度 3Q(4-12月)	増減率	シェア
1	情報・通信・放送	▲3.0	15.3	情報・通信・放送	▲14.6	16.7
2	酒・飲料	▲2.6	10.7	酒・飲料	+7.7	11.6
3	食品	+8.6	9.5	食品	▲4.8	9.3
4	外食・サービス	+8.0	8.2	外食・サービス	▲22.8	8.0
5	医薬品	▲4.7	7.0	医薬品	▲2.3	7.7
6	化粧品・トイレットリー	+23.6	6.5	交通・レジャー	+16.9	5.9
7	交通・レジャー	+9.4	6.1	化粧品・トイレットリー	+8.8	5.6
8	金融	+9.7	5.0	金融	▲13.4	4.8
9	自動車・輸送機器	+45.3	4.8	エンタテインメント・趣味	+14.4	4.8
10	不動産・建設	+29.1	4.5	不動産・建設	▲14.1	3.7

※ 順位は金額順

連結会社一覧

※ 2024年12月末現在

TBS

メディア・コンテンツ/不動産・その他(1社)

(株) TBSテレビ

メディア・コンテンツ(15社)

(株) TBSラジオ

(株) BS-TBS

(株) CS-TBS

(株) TBSスパークル

(株) TBSグローディア

(株) TBSアクト

(株) Seven Arcs

TCエンタテインメント(株)

TBS International, Inc.

(株) TBSメディア総合研究所

(株) 日音

(株) マンガボックス

(株) THE SEVEN

Bellon Entertainment Inc.

TBS KOREA, INC.

ライフスタイル(7社)

(株) スタイルングライフ・ホールディングス

(株) CPコスメティクス

(株) やる気スイッチグループホールディングス

(株) やる気スイッチグループ

(株) やる気スイッチキャリア

(株) YPスイッチ

(株) 寺小屋グループ

不動産・その他(5社)

赤坂熱供給(株)

(株) TBS企画

(株) TBSサンワーク

(株) TBSヘクサ

(株) 緑山スタジオ・シティ

持分法適用(6社)

(株) リトプラ

(株) WOWOW

(株) Amazing Sports Lab Japan

(株) YGC

(株) U-NEXT

台湾拓人教育事業股份有限公司